

2011年 1月14日

防衛大臣  
北澤俊美様

北海道平和運動フォーラム  
代表 箱山 富美子  
代表 江本 秀春  
代表 山田 剛  
平和運動フォーラム石狩地域協議会  
代表幹事 布施 裕  
代表幹事 丸岡 久信  
札幌平和運動フォーラム  
代表幹事 飯田 晃  
代表幹事 高桑 史嘉  
代表幹事 高久保 陽一  
代表幹事 立花 哲也

## 陸上自衛隊第1空挺団「北方積雪地演習」の中止を求める申し入れ

### <要請趣旨>

陸上自衛隊第1空挺団（千葉県船橋市習志野駐屯地）は1月14日から31日にかけて、「北方積雪地演習」を十勝管内芽室町上美生の農地と鹿追町営乳牛育成牧場を使って実施することを明らかにしました。

この演習は、積雪地における空挺降下訓練及びスキー訓練を十勝飛行場（陸自第5旅団内）から輸送機及びヘリコプターにより空中機動した後、芽室町上美生の民有地と鹿追町営乳牛育成牧場に「パラシュート降下」するものとなっています。

この訓練を実施する「第1空挺団」は、陸上自衛隊唯一の空挺部隊として「テロや有事」に迅速に行動する機動運用部隊で、空からの「制圧」を主な任務とし、防衛大臣直轄の専門部隊と認識されています。こうした任務をもつ部隊の軍事訓練は、「国を守る為」という理由で、有事の際に「国民の財産や人権をも無視する」ものであり、民有地や町有地を借りて行うというところに大きな特徴があり、「国民保護法」の発動を想定した訓練と言わざるを得ません。

一昨年（2010年）の1月27日に芽室町上美生の民有地で実施した際には、当初の確認では「銃は持ち込まない」としていましたが、「銃」を持っての訓練であったことや、ヘリコプター降下訓練中に隊員のパラシュートが引っ掛かり、5分程度「宙吊り」になるという事故が起きています。

こうした中で、今年も軍事訓練を繰り返すことは断じて許すわけには行きません。

つきましては、下記のとおり申し入れをいたします。

### <要請事項>

演習場所には民家や農家が点在し、とりわけ芽室町ではスキー場の上空での「演習」となり大事故につながる危険性があります。また、食糧を生産する農地や町営牧場での「演習」は、「有事を想定」させ、地域住民の安全・安心を脅かすものです。

したがって、こうした「北方積雪地演習」をただちに中止するよう要請いたします。

以上